

令和
7年度

事業所における自己評価総括表(公表)

COMPASS 発達支援センター唐津



○事業所名	COMPASS発達支援センター唐津			
○保護者評価実施期間	令和7年9月10日		～	令和7年9月26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15名	(回答者数)	15名
○従業者評価実施期間	令和7年9月5日		～	令和7年9月16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13名	(回答者数)	13名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 9月24日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	COMPASSでは全国に事業を展開しており、系列事業所との連携があります。 各担当者が会議や勉強会をおこなっており、事例検討なども含めて多様な視点からの意見を取り入れて、計画書や日々の療育に取り入れております。	各担当ごとに事業部内で担当グループが形成されており、担当グループ主体での会議や勉強会を実施しております。 複数の地域に事業所があるため、不明な点などは指定権者に確認し、法令に沿った事業所運営をおこなっております。	児童が楽しみながら通ってくる事業所、成長を感じられる事業所、安心して通ってもらえる事業所を常に考えながら、決められたルールを遵守して取り組んでまいります。
2	児童指導員、保育士、理学療法士など多様な職種の職員を配置しており、利用される児童一人ひとりの特性や性格、得意・不得意を理解したうえで児童に応じた多方面からの支援を提供しております。	毎日職員全員での打合せの時間を設け、児童一人ひとりの最新の状況や様子、支援内容などを共有・確認をおこなっております。	打合せだけでなく、実際の支援中やその他の場面でも職員全員で状況を共有し、より充実した支援の提供に取り組んでまいります。
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	構造上、取り除くことが難しい段差が事業所内に存在し、ハード面における不安要素をなくすことができおりません。 また、事業所内に個室がなく完全な個別での対応をおこなうことが難しいと考えております。	利用される児童にはそれぞれの特性を持つ児童が多く、児童一人ひとりの状態や状況に応じた対応を日々工夫しながらおこなっております。	転倒やつまずきのリスクが高い箇所にはあらかじめ児童が自分で気付くことができる目印を示したり、個室はありませんがパーテーションで簡易的な個室の空間を調整しながら対応をおこなってまいります。
2	現在、言語聴覚士の資格を持つ職員が在籍していないため、言語面への専門的なアプローチについては課題を感じております。	児童発達支援管理責任者を中心として職員全体で勉強会を実施し、専門分野に関する知識の向上に努めております。	全国の事業所の中には言語聴覚士が在籍している事業所もあるため、月1回の会議において、言語聴覚士の視点から必要なアプローチや評価方法を共有し、職員全体のスキルアップを図ってまいります。



公表日：令和8年3月27日